

滋賀事業場にエンジニアリング技術開発拠点を新設



2026年6月2日
東レ株式会社

東レ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：大矢 光雄、以下「東レ」）は、このたび、創業の地である滋賀事業場に、エンジニアリング技術開発の拠点となる開発棟を新設します。2026年12月に着工し、2028年12月頃の完成を予定しています。

東レの技術開発を取り巻く環境は、エネルギー問題への対応やデジタル技術の進展、製品ライフサイクルの短期化などにより、急速に変化しています。こうした環境変化を踏まえ、東レグループのもつ多様な事業製品に対して、高付加価値製品の創出、事業競争力の強化を従来以上のスピード感をもって推進していく必要があります。こうした背景のもと東レでは、革新的な生産プロセスおよび量産技術の確立に必要となるエンジニアリング要素技術を進化させ、開発基盤の強化に取り組んできました。

今回、これまで分散していた実験・検証機能を集約し、研究初期から生産まで見据えたプロセス・設備開発を行う技術開発プラットフォームとして、開発棟の新設を決定しました。

新開発棟は、4つのラボ（プロセス・エンジニアリング、精密表面加工、評価実証、スマートエンジニアリング）を有し、東レの様々な事業で培ってきたエンジニアリング要素技術を融合することで、既存製品の競争力強化に加え、デジタル（AI半導体・データセンター）、環境エネルギー（分離膜・水素）、次世代モビリティ（航空・宇宙）など、今後の成長が期待される領域で求められるプロセス・生産技術のさらなる強化を図ります。

また、当社グローバル研究のヘッドクォーターである「未来創造研究センター」ならびに最先端分析・評価機能を保有する「東レリサーチセンター」に隣接することで、研究成果を迅速にプロセス検証・実証へと繋げるシナジーをこれまで以上に加速させて、事業開発スピードの向上を実現します。

東レはこれからも、企業理念である「わたしたちは新しい価値の創造を通じて社会に貢献します」を具現化し、社会貢献とともに持続的な成長拡大を目指してまいります。

<新開発棟の概要>

- 施設概要：延床面積：約9,120㎡、3階建
- 所在地：滋賀県大津市(東レ滋賀事業場内)
- 竣工予定：2028年12月

当ウェブサイトでは、お客様のニーズに合ったより良いサービスを提供するために、クッキーを使用しています。[クッキーポリシー](#)

設定

OK



本事業に関するお問合せ [📄](#)

東レ公式SNS



note

 **Toray Group**

Copyright © 2026 TORAY INDUSTRIES, INC.

当ウェブサイトでは、お客様のニーズに合ったより良いサービスを提供するために、クッキーを使用しています。[クッキーポリシー](#)